

市立

小諸高原美術館・白鳥映雪館



中澤嘉文 作品展

—北信濃の自然とともに五十年—



平成 28 年に第 30 回小山敬三記念小諸公募展大賞を受賞した一水会運営委員・中澤嘉文氏による、画歴 50 年の歩みをたどる作品展を開催します。本展では、初期の人物画をはじめ、北信濃の豊かな自然、日本各地の風景を描いた油彩画 48 点を一堂に展示します。

中澤氏は、33 歳で一水会に初入選。その後、一水会賞、日展特選を受賞するなど高い評価を受け、これを節目として、冬の日本海、青森の漁港や湿原、そして浅間山、白馬、信濃町など、四季折々の自然、とりわけ雪景色や早春の澄んだ空気感に心を寄せ、その感動を丹念に描き続けてきました。青やグレーを基調とした画面には、自然への畏敬と郷土への深い愛情が息づいています。

本展は、一水会出品以来 50 年という節目にあたり、北信濃の大自然とともに歩んできた画業の集大成ともいえる内容です。半世紀にわたり描き続けてきた風景の世界をどうぞご堪能ください。

- ▶ 期 間 4/26(日)～7/9(木)
 - ▶ 観覧料 一般 500 円 / 小中学生 250 円
 - ▶ 開館時間 9:00～17:00
 - ▶ 休館日 月曜日 (5/4(月)は開館、5/7(木)は休館)
 - ▶ ギャラリートーク 5/23(土) 13:30～
- ☎ 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

海野先生のご都合により、今月の「海野和男の小諸日記」は 10 年前の 2016 年 4 月号に掲載した「ベニシジミ」を再度ご紹介します。



昆虫写真家 海野和男の小諸日記 ベニシジミ

ベニシジミは、紅色が鮮やかな小さなチョウだ。いろいろな花で蜜を吸うが、タンポポ、ナノハナ、ハルザキヤマガラシなどの黄色の花が特に好きなようだ。まるで、自分の紅色の姿が黄色の花とよく似合うことを知っているかのようだ。

春から秋まで何回も発生するから、冬をのぞけば早春から秋遅くまで見られる。けれど春に見るベニシジミは色が特に鮮やかで綺麗だと思う。日当たりの良い場所が大好きで、草むらや道端など、小諸ではどこでも見られるチョウだ。幼虫がスイバやギンギンといったタデ科の植物を食べるので田んぼの畦などでもよく見かける。シジミチョウの仲間は一般に触角が白と黒の斑だが、ベニシジミでは特によく目立ち、それがアクセントとなって可愛らしく見える。葉の上に翅を半開きにしてとまわっていて、他のベニシジミが来ると追いかけていくものもいる。これはメスを待ち構えているオスで、メスを見つけると、すごいスピードで追いかけていく。メスがとまると後から翅を小刻みに振るわせて、求愛する。時にはメスが産卵するのを妨げてしまうけれど、オスは求愛に一生懸命、メスは卵を産むのに一生懸命だ。



ひよこの日
入園前の親子の皆さま対象 **参加無料**
2026年5月から始まります
いっしょに遊ぼう!
「楽しいな、こもろようちえん」
受付9:30～10:00 活動時間11:45まで
◎ご予約いりません。詳しくは電話でお問い合わせ下さい。
毎週水曜日の午前中 園庭開放しています
認定こども園 **こもろようちえん** ☎0267-22-0355 小諸市三和 1-5-16
<http://www.komoroyouchien.ed.jp>

運用代行サービスいたします! facebook Instagram Youtube Google YouTube

これから始めるWEB広告

こんなお悩みございませんか?

- WEB広告を出してみたいけど、何をすれば良いかわからない...
- 自社の商品・サービスをどうやってPRすれば良いかわからない...
- そもそも良くわからないし、忙しくてやっつけられない...

様々な種類の SNS・WEB 広告を一括サポートします!

AIC 地域情報&広告株式会社 アイク 小諸市御幸町2-12-1 Tel.0267-23-4474 www.aic-ad.co.jp

〈広告欄〉